Impact Osaka

Impact Osaka
～愛溢れる未来都市 大阪の実現～

組織ブランディング確立委員会
委員長　北田　昇平

企画・編集　組織ブランディング確立委員会
発行　公益社団法人 日本青年会議所　近畿地区　大阪ブロック協議会(https://osaka-bc.net/)
制作　株式会社エルビーエム

ANNUAL REPORT 2022

公益社団法人　日本青年会議所
近畿地区　　大阪ブロック協議会

目次

3 ・・・・・・・・ 青年会議所とは / 大阪ブロック協議会とは
4 ・・・・・・・・ ２０２２年度組織図
5 ・・・・・・・・ 会長ご挨拶
6 ・・・・・・・・ 直前会長ご挨拶
7 ・・・・・・・・ ２０２２年度年間事業報告
8 ・・・・・・・・ ２０２２年度年間事業報告
9 ・・・・・・・・ 役員挨拶(地域担当副会長)
10 ・・・・・・・・ 役員挨拶(地域担当副会長)
11 ・・・・・・・・ 役員挨拶(会務担当副会長)
12 ・・・・・・・・ 役員挨拶(運営専務・事務局長)
13 ・・・・・・・・ 役員挨拶(監査担当役員)
14 ・・・・・・・・ 役員挨拶(監査担当役員)
15 ・・・・・・・・ 理念共感拡大LOM支援委員会
16 ・・・・・・・・ 理念共感拡大LOM支援委員会
17 ・・・・・・・・ インパクト大阪実現委員会
18 ・・・・・・・・ インパクト大阪実現委員会
19 ・・・・・・・・ 誰もが輝く社会実現委員会
20 ・・・・・・・・ 誰もが輝く社会実現委員会
21 ・・・・・・・・ イノベーション創出委員会
22 ・・・・・・・・ イノベーション創出委員会
23 ・・・・・・・・ 財政マネジメント委員会
24 ・・・・・・・・ 財政マネジメント委員会
25 ・・・・・・・・ 組織ブランディング確立委員会
26 ・・・・・・・・ 組織ブランディング確立委員会
27 ・・・・・・・・ JCアドバイザー会議
28 ・・・・・・・・ JCアドバイザー会議
29 ・・・・・・・・ 褒賞
30 ・・・・・・・・ 広告制作物/外部協力団体

Impact Osaka
～愛溢れる未来都市 大阪の実現～

青年会議所とは /大阪ブロック協議会とは

青年会議所とは

１９４９年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所設立から、日本の青年会議所（ＪＣ）運動は始まりました。共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生。１９５１年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本ＪＣ）が設けられました。現在、日本全国に青年会議所がありより良い社会づくりをめざし社会的課題に積極的に取り組んでいます。

青年会議所には、品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、地域にはよりますが概ね２０歳から４０歳までという年齢制限を設けています。会員は４０歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は１年に限られます。毎年示される理事長所信に基づき、会員は、「奉仕」「修練」「友情」の３信条の下、明るい豊かな社会の実現を目指し活動していきます。会員は１年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていくことができます。　青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、ＯＢも含め各界で社会に貢献しています。

大阪ブロック協議会とは

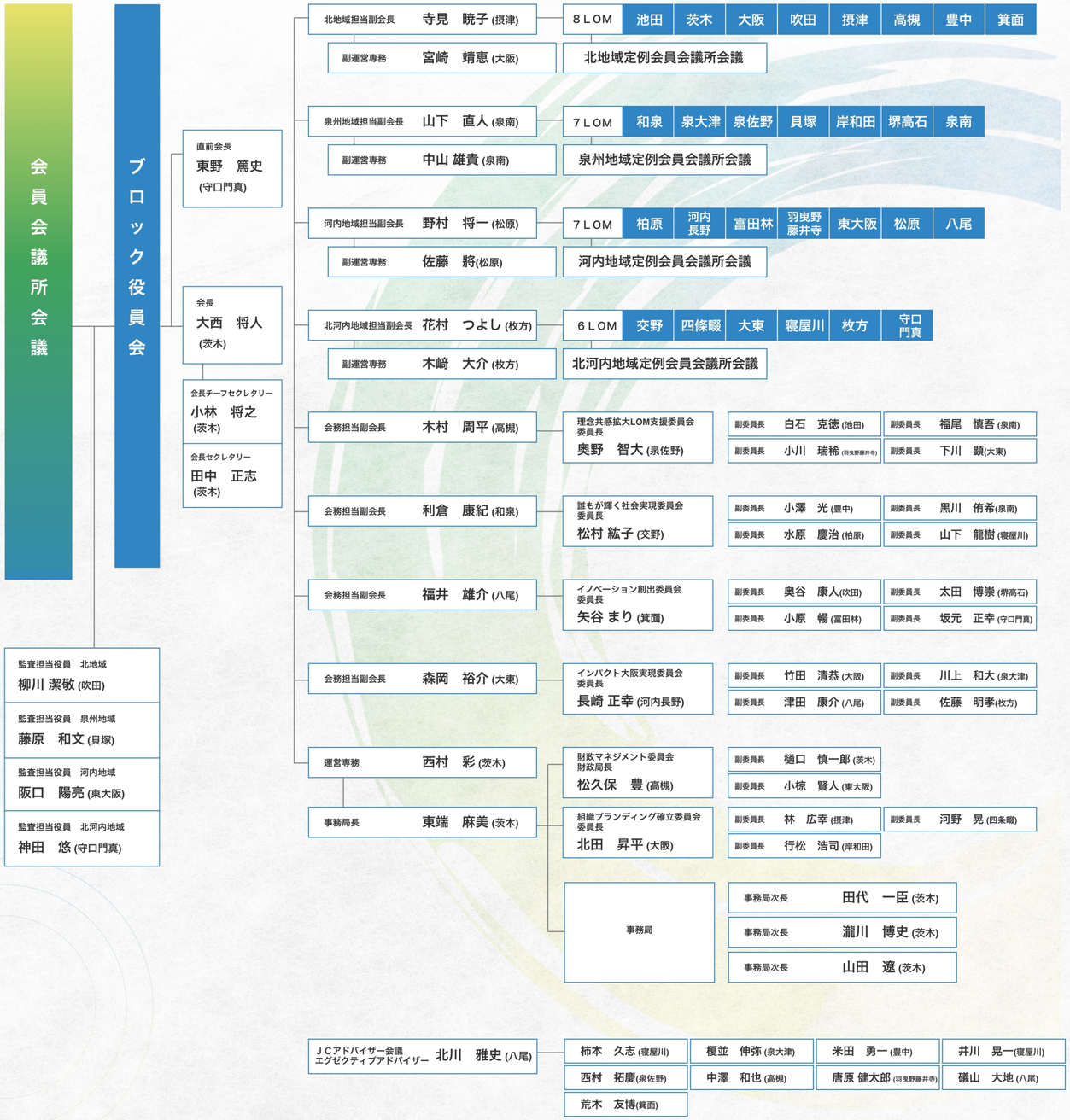
大阪ブロック協議会は、大阪ブロックに所属する大阪府下２８の青年会議所からの出向者によって構成された団体です。大阪府下２８の青年会議所には２０２１年末時点で2,４００名のメンバーが所属しており、当協議会はメンバーの意見を総合調整し、青年会議所運動の進展に寄与することを目的に活動しています。
会長所信に基づき、１年間で様々な社会貢献事業を企画展開しています。それら社会貢献事業のために活動する委員会が組織され、その中で様々な役割を経験することが出来ます。

大阪ブロック協議会の事業の企画・実施に当たっては、大阪府全体に視野を広げた活動を経験することができます。所属する青年会議所の垣根を越えたメンバーとの交流、そして活動の中での修練を通じて仲間との深い関係性を構築することができます。

主な活動

大阪ブロック内の理事長が集う「会員会議所会議」開催	多様な人財の拡大と教育につながる「ブロックアカデミー」の開催	
「わんぱく相撲大阪府決勝大会」の開催	「大阪ブロック大会」の開催	「ＪＣカップＵ－１１　少年少女サッカー大阪予選大会」の開催

２０２２年度 組織図



会長挨拶

Greeting



会長

大西 将人

平素より、公益社団法人日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会の活動に対し、行政、企業、教育機関、団体、府民の皆様にご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度は、Impact Osaka～愛溢れる未来都市大阪の実現～をめざし組織改革、ＬＯＭ支援の２つを軸として運動を展開してまいりました。ハイブリッド会議や子連れでの会議、託児所の設置、又、企業や団体との様々なテーマにおける対談記事を発信し、組織改革の新たな視点や学びを提供させていただきました。

ＬＯＭ支援については、大阪ブロック内の多くのＬＯＭでは在籍年数3年未満のメンバーが多く在籍し、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックによってこれらのメンバーの成長と発展の機会が多く失われ、退会者の増加や青年会議所の組織としてのプレゼンスが失われつつありました。しかし、本年は堺高石の地で開催されたＡＳＰＡＣや高槻で開催された近畿地区大会を多くのＬＯＭが成長と発展の機会として活かしていただき、逆出向事業やＪＣプログラムの推進事業により、多くのＬＯＭにＪＣ理念を浸透させることができたと考えております。又、八尾の地で開催されたブロック大会は3年ぶりのフルスペックでの大会を構築することができ、メンバー間の友情を育み、ＬＯＭの発展やメンバーの成長に大きく貢献できたと考えております。

結びに、本年度の活動に対し、多大なるご支援、ご協力を賜りました全ての皆様に感謝を申し上げますと共に、2023年度の大阪ブロック協議会の運動に対しまして本年度以上のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

直前会長挨拶

Greeting



直前会長

東野 篤史

平素より、公益社団法人日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会の活動に対し、行政、企業、教育機関、団体、府民の皆様にご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症による様々な影響を受けた社会も3年の月日が経ちました。ワクチンや新薬の開発、さらにはウイルス対策に対する価値観も様変わりを見せるなかではありますが、本年もその脅威と向き合いながら府民の安全と同時に経済活動の再開や子供から大人まで皆様の生活がより良くなるため、情熱を絶やすことなく運動を展開してまいりました。

そして、2025年大阪・関西万博の開催を控える大阪を活動エリアとする大阪ブロック協議会として、大西会長の掲げるImpact Osaka～愛溢れる未来都市大阪を実現～の理念のもと9月に行われた大阪ブロック大会八尾大会では3年ぶりにフルスケールでの大会構築を行い次代へとそのImpactを残すことができたと確信しています。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症の影響も危惧されますが、大阪ブロック協議会では情熱のバトンを繋ぎ社会により良い変化を与えるべく運動展開をしてまいります。

結びに、関係各所多くの皆様のお力添えのもと活動を行えたことに感謝を申し上げるとともに、皆様の幸が末広がりますようご祈念申し上げます。

２０２２年度年間事業報告

2021
12.6 第１回会員会議所予定者会議
運営予定者会議



2022
2.1 - 4.30
マッチング拡大アカデミー事業



2022
2.21 - JC理念共感拡大
ブロックアカデミー



2022
5.27 ＪＣＩ ＡＳＰＡＣ堺高石大会
堺高石フードフェスティバル
アジアンフードフェス
ＪＣブース出展



2022
7.3 近畿地区大会
高槻大会ブース出展



2022
7.9 ＪＣカップ　U-11
少年少女サッカー大阪予選大会



2022
7.12
第２回会員会議所会議・運営会議

2022
9.1 - 11.30
プロジェクトヒポクラテス



2022
9.25 大阪ブロック大会
八尾大会



2022
12.5
第3回会員会議所会議・運営会議
大納会
褒賞授与式







2022
10.30
両国国技館にて
わんぱく相撲男子全国大会

2022
8.30
吉村大阪府知事表敬訪問



2022
8.21
沖縄県にてわんぱく相撲女子全国大会

2022
6.19
第２６回わんぱく相撲大会 大阪府決勝大会



2022
7.24
誰一人取り残さない子供たちの学びを支える環境整備推進事業
「多様化する不登校の子供たちの今を考える～誰もが学びへアクセスできる環境を目指して～」



2022
2.7
サスティナブルな
中期ビジョン策定



2022
1.31
第１回会員会議所会議・運営会議
大阪ブロック大会主管締結式
合同出陣式



2022
1.27
逆出向先LOM選定会議

役員挨拶

Greeting



北地域担当副会長

寺見 暁子



北地域担当副運営専務

宮崎 靖恵

本年度、多くの会員の声を背負いブロックをリードしていくという覚悟と想いで北地域担当副会長を務めさせて頂きました。スローガンである「Impact Osaka〜愛溢れる未来都市大阪の実現〜」を北地域から実現するべく会員会議所会議を開催し、各LOMの相互理解を図ること、我々が抱える事業を的確に共有することを念頭においたうえで、出席いただいた皆様が学びを持ち帰り、各LOMがあらゆる課題を解決できるJCとなるべく運営に努めて参りました。また、最多の会員数を誇る北地域だからこそ、ブロック内各種事業の動員に尽力いたしました。事業や大会を通じ、多くの方に成長の機会を提供することができたと自負しています。結びに、今後の大阪ブロック協議会と各LOMが更なる発展を遂げることを祈念申し上げ私の報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。



泉州地域担当副会長

山下 直人



泉州地域担当副運営専務

中山 雄貴

本年度は泉州地域でJCIASPAC堺高石大会の開催があり、その重要な年に泉州地域担当副会長という大役を仰せつかる事となりました。そして、大西将人会長が掲げる「Impact Osaka〜愛溢れる未来都市大阪の実現〜」を実現する為、大阪ブロック協議会と泉州地域を繋ぐ役割を努めさせて頂きました。コロナ渦で会員拡大に苦戦しているLOMも多く、その中で逆出向、LOM支援がとても重要な役割を担う事となりました。たとえ直ぐに結果が出なくても学んだことや得たことは大きく、メンバーの成長にも繋がり次年度以降にも期待できるので大成功したと言えると考えます。結びに、次年度以降も大阪ブロック協議会と各LOMが更なる発展を遂げることを祈念申し上げ今年度の報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。



河内地域担当副運営専務

野村 将一



河内地域担当副運営専務

佐藤 將

本年度大阪ブロック協議会はImpactOsaka〜愛溢れる未来都市大阪の実現〜をスローガンに大阪の成長と発展に向けて運動を展開し、それは河内地域でも７LOMが「河内はひとつ」を合言葉に共に手を取り合い成長につなげることが出来ました。河内地域が合同で行う親睦事業ではLOMの垣根を超えた親睦を図り合同例会では多くの参加者で河内地域の発展に寄与することが出来ました。また主幹、副主幹としてブロック大会での機会を起点に河内地域が大きく成長に繋がったと確信しております。最後に出向を通じて私を成長させてくれたすべての皆様に感謝を申し上げます。



北河内地域担当副会長

花村 つよし



北河内地域担当副運営専務

木﨑 大介

大阪ブロック協議会において東北地域から北河内地域へと名称が変わり、本年度で２０年が経ち、２０代目の北河内地域担当副会長を仰せつかりました。偉大なる先達の熱き想いを繋ぎ、継承していくべく１６年のJC最終年度として、培ってきた学びを後進へと伝えることができればと邁進をしてきました。古くから当地域は会員会議所会議を毎月開催し、大阪ブロック内で唯一ブロックの運動について議論し、各理事長の声を届けてきました。“北河内の長所である高い運動力をブロックにも還元する、北河内から大阪を牽引する“という気概をもって我がLOMだけでなく、ブロックに対しても同様の熱量で運動について想いを巡らせる地域を先導して参りました。残されるメンバーが本年度の学びを活かしてくれることを願っております。本年は誠にありがとうございました。

役員挨拶

Greeting



会務担当副会長

木村 周平

大西会長が掲げる「Impact Osaka～愛溢れる未来都市大阪の実現～」に向け、理念共感拡大LOM支援委員会を会務担当副会長として担当させていただきました。理念共感拡大グランドデザインの目標を達成すべく、逆出向事業を軸に理念教育システムの再構築に努めました。期首会員数の減少に課題を抱える中、理念共感を拡げ個性を尊重した多様性のある組織へと進化していくことを目指すべき姿とし、本年度の運動は１つのモデルケースを構築できたと考えております。単年度制ゆえに引継ぎを確実に行い、今後更なる運動が構築されることを祈念しています。結びとなりますが、１年間多くの関係者各位に大変お世話になりましたことを御礼申し上げます。今後も大阪ブロック協議会が地域で必要とされる組織であることを祈念し年次報告書に対しての寄稿とさせていただきます。



会務担当副会長

利倉 康紀

本年度、「Impact Osaka～愛溢れる未来都市大阪の実現～」のスローガンのもと、誰もが輝く社会実現委員会の会務担当副会長としての職務をお預かりさせていただきました。誰一人取り残さない子供たちの学びを支える環境整備事業において、子供たちにとって学校以外の学びの場や活躍の多様性が認められる社会の推進を行って参りました。また、全国大会おおいた大会ブース出展にて大阪の魅力を発信し、そして大阪ブロック大会八尾大会式典においては、これまで連綿と受け継がれてきた歴史や伝統と、地域性や時代に即した大会開催理念を会員の皆様と共感できるよう努めて参りました。今年度の出向を通じて多くの関係者各位の皆様と共に学びや成長の機会を創出できましたことに心より感謝し、今後の皆様の更なるご健勝を祈念致しまして私からのご挨拶とさせていただきます。１年間ありがとうございました。



会務担当副会長

森岡 裕介

大西将人会長が掲げる「Impact Osaka～愛溢れる未来都市大阪の実現～」に向け、インパクト大阪実現委員会の会務担当副会長として様々な職務を務めさせていただきました。

当委員会では大阪ブロック大会八尾大会やＪＣカップ大阪予選大会など多くのインパクトを与える運動を展開してまいりました。３年ぶりのフルスペック開催となったブロック大会では行政や企業と地域資源の可能性を見出し、新たな魅力を創出する事業を実現することが出来ました。また、大阪府下２８ＬＯＭのメンバーにとっても成長の機会につながったと確信しております。

結びに、本年度の事業を確りと引き継ぐと共に、来年度以降も大阪ブロック協議会の運動が地域にインパクトを与えることが出来る組織であり続けることを祈念しご挨拶とさせていただきます。１年間大変お世話になりました。



運営専務

西村 彩

本年度は運営専務として、大阪ブロック協議会に出向していただいたメンバーが、仕事や生活環境に左右されることなくＪＡＹＣＥＥとして活躍できる環境整備を行い、各々が個性を発揮し活躍することのできる組織を目指して邁進してきました。まずは、誰もが参加できる会議運営を行うために、子供連れでの会議参加の促進や、ハイブリッド会議を実施しました。また、大阪ブロック協議会の運動を幅広く知って頂くために、伝え方に工夫をしてレベルの高い内容を円滑に発信し、誰もがＪＣのファンとなる広報を実施しました。そして、ルールに則った財政面とコンプライアンス面の遵守をおこなってまいりました。今年度、出向していただきましたメンバーの皆様と共に活動できましたこと、また多くのご支援ご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。



事務局長

東端 麻美

本年度は、「Impact Osaka~愛溢れる未来都市大阪の実現」をテーマに掲げ、事務局長として担当させていただきました。事務局では、大阪府下２８LOMが効果的な運動を実現するために、情報共有システムを活用し発信してまいりました。そして出向者相互の連携を強化するために、基本資料と出向者名簿を作成いたしました。更に、誰もが参加できかつ充実した会議を実現するために、関係諸委員会と連携を取り、各会議の開催および参加形式を柔軟に使い分けるとともに、事前意見出しシートの活用による会議の効率的運用を志向してまいりました。結びとなりますが、２０２２年度の大阪ブロック協議会の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

役員挨拶

Greeting



監査担当役員

柳川 潔敬

本年度は、「Ｉｍｐａｃｔ　Ｏｓａｋａ～愛溢れる未来都市大阪の実現～」をスローガンに掲げ、対内的にはＬＯＭ支援や組織改革を推し進め、対外的には大阪ブロック大会八尾大会等で地域社会にインパクトを与える運動を展開した一年となりました。ブロック役員をはじめとする多くのメンバーが、与えられた成長の機会というものに対し、真摯に向き合う姿を見ることができましたし、地域社会にインパクトを与える運動を展開するために、苦悩しながらも英知を結集し、必死に努力する姿には心から敬意を表します。今後も、大阪ブロック協議会並びに大阪府下２８ＬＯＭのメンバーが、本年度の意志を継ぎ、より一層飛躍されることを心よりご祈念申し上げて、私からのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



監査担当役員

藤原 和文

監査担当役員として、大阪ブロック協議会の運動、運営が適正に行われているか確認させていただきました。本年度は大西会長が掲げる「Impact Osaka～愛溢れる未来都市大阪の実現～」のもと、役員一丸となって様々な事業が展開されました。また、ＳＮＳによる情報発信ではブロック協議会だけでなく、各ＬＯＭの運動を積極的に行い、多くの人を巻き込んだ広報戦略により、これまで以上に周知でき、連絡調整機関としての本来の役割を果たせていることを確認いたしました。本年度、頂いた職務は来年の決算まで続きますが、本年度の経験・出会いに感謝し、次年度以降の大阪ブロック協議会と大阪府下28LOMの今後益々の発展をご祈念申し上げます。



監査担当役員

阪口 陽亮

本年度は公益社団法人日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会、監査担当役員を担当させていただきました。本年大阪ブロック協議会は新型コロナウィルスの影響が残る中、「Impact　Osaka～愛溢れる未来都市大阪実現」をテーマに運動を邁進してまいりました。近年の組織を取り巻く環境は大きな変化を迎えており、財政規則、コンプライアンスの重要性が増しています。財政コンプライアンス審査会議を開催することで公益社団法人として、公益法人会計基準に準拠する予算書及び決算書の作成、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律等に定められた要件を満たす組織運営を行いました。２０２２年度大阪ブロック協議会の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜わりましたことに心より感謝御礼申し上げます。



監査担当役員

神田 悠

大阪ブロック協議会の運動・活動が正しく行われているのか適正に判断するために監査担当役員としての職務を務めさせていただきました。本年度は大西会長のリーダーシップのもと役員が切磋琢磨し、様々な事業を通してスローガンである「Impact Osaka～愛溢れる未来都市大阪の実現～」を実現されました。また、プロモーターを多く輩出するなど、出向者の成長も感じられつつ、ブロック協議会としての重要な役割である本会の運動を各LOMに落とし込まれたことも確認して参りました。ブロック協議会がLOMの規範となり多くのメンバーに成長の機会を提供できたと確信しております。結びに、最終の決算は来年まで続きますが、次年度以降の大阪ブロック協議会と大阪府下28LOMの今後益々の発展をご祈念申し上げます。

理念共感拡大*LOM*支援委員会

Committee introduction



理念共感拡大*LOM*支援委員会 委員長

奥野　智大

理念共感拡大ＬＯＭ支援委員会はＬＯＭ支援をベースに運動を展開いたしました。逆出向事業では、当協議会の理念共感拡大グランドデザインをもとに、理念共感人財の拡大に向け、理念共感型の拡大手法を大阪府下２８LOMに浸透させるべく取り組みを進めてまいりました。

本年度は、わんぱく相撲大阪府決勝大会で多くの方々にわんぱく相撲の開催意義を伝えることを目的に「わんぱく理念」を策定いたしました。８月には沖縄県にてわんぱく相撲女子全国大会が開催され、６年生の部、５年生の部で個人優勝、団体戦でも優勝を飾ることができました。そして、１０月には両国国技館にてわんぱく相撲男子全国大会が開催され、小学５年生の部で個人優勝と素晴らしい結果となりました。大阪府代表のわんぱく力士が全国大会で男子、女子共に優勝することは初の快挙となり、担当委員会メンバーもこの大会を通じて、多くの経験や感動をいただきました。

大阪ブロック大会八尾大会で開催したフォーラムにおきまして、第１部では事業成果（逆出向事業内容、理念共感拡大グランドデザインの取り組み）を発信、推進の意義をお伝えしました。今後の継続的な取り組みをご期待申し上げます。第２部では工藤勇一氏よる基調講演を開催いたしました。「最上位の目的合意」を学ぶことができました。ＪCの最上位の目的は「社会をより良くする運動を創る」ことであります。手段が目的にならないよう、常に最上位目的を軸に運動が展開するべきであると発信させていただきました。



事業計画

大阪ブロック協議会の各ＬＯＭにＪＣ理念教育システムが再構築され、我々は設立当初の理念が浸透していた状態へと原点回帰し、理念を自分の言葉で伝えることができるメンバーによって理念に共感する人財が拡大し、愛溢れる未来都市大阪を実現します。

１．逆出向を活かしたＪＣ理念浸透と拡大支援事業 （通年）
２．ＪＣプログラム活用の推進及びトレーナーの育成の推進（通年）
３．ＬＯＭの課題の即した多様な人財の拡大と教育につながるブロックアカデミーの開催（通年）
４．ＪＣ理念を体現するわんぱく相撲大阪府決勝大会の開催（６月）
５．大阪ブロック大会八尾大会での事業成果の発信（９月）
６．ＪＣＩ世界会議でのジャパンナイトブース出展（１１月）
７．連携推進運動・ＬＯＭ重点依頼運動の対応窓口及びＬＯＭへの周知及び支援 （通年）
８．大阪ブロック大会八尾大会への協力（通年）
９．ＪＣＩ ＡＳＰＡＣ堺高石大会開催支援及び参加推進

STAFF

委員長

奥野　智大

幹事

中島　規貴
松本　裕樹

副委員長

白石　克徳
福尾　慎吾
小川　瑞稀
下川　顕

委員

田中　美千絵
中　健二
滝元　亮太
山岡　聡之
花城　清成
横田　裕弘
野崎　晃大
田丸　達也
坂本　崇
田中　翔
松本　光隆
中澤　亮
伴　俊秀
出口　真規
三浦　淳
阿水　瑛彰
市村　健
山元　雅生
佐々木　由香
森田　健一郎
石津　拓也
鈴木　あゆみ
関　直也
松村　圭一郎
唐原　健太郎
脇田　仁志
金元　良憲
清水　優太
三野　由貴
西村　淳
實松　裕貴
寺田　雄介
井阪　雄大
金井　司
鈴木　莉奈
村山　博輝
上野　智也
林　隆典
岩﨑　瑞稀
中庄谷　悠暉
佐和田　英之
上薗　雅人
平尾　友規
辻内　敏男
松原　敬宏
横田　昌隆
吉原　知夫
國友　拓哉
畔上　裕也
井上　樹
岸野　志樹
東野　善行
小畑　貴浩
加藤　永里加
野村　早希
藤原　実来
木村　旭伸
田中　小実
吉田　隆次
早野　孝臣
山田　祐土
大川　勝貴
福岡　善和

インパクト大阪実現委員会

Committee introduction



インパクト大阪実現委員会 委員長

長崎　正幸

インパクト大阪実現委員会では、地域全体に波及効果を与え人々の心を動かすインパクトのある運動を行い、魅力溢れるまちづくりに寄与しました。

中期ビジョン推進事業では、周年時に掲げる中期ビジョン作成をどのように進めていけばいいか、また地域のステークホルダーの巻き込み方などを助言しモデルケースとなる中期ビジョンを１LOM作成しました。また近畿地区大阪ブロック大会でのブース出展では、大阪の物産品を発信するとともに、大阪を感じていただくためスマートボールのゲームを設えました。大人から子供まで沢山の方々がブースに立ち寄り多くの方に大阪の魅力を発信できました。JCカップ大阪予選大会では、グッドルーザーの精神をサッカーを通じて学んでいただくため、ただ試合だけを行うのではなく、プロのサッカー選手をお招きしお話をしていただきました。また今後の参加LOMを増やすために大阪府下の理事長をお招きしグッドルーザーの採点員またアフターマッチミーティングに参加していただきJCカップの魅力を伝えました。大阪ブロック大会八尾大会では３年ぶりとなるフルスペックで開催しました。シャッター商店街という地域資源を活用しブースやキッズダンス、河内音頭などを設えることで３０年ぶりに人々で活気があふれ地域資源の有効活用のモデルケースとなりました。

結びに、事業実施にあたり多大なるご協力を賜りました全ての皆様に心から感謝申し上げます。１年間誠にありがとうございました。



事業計画

目まぐるしく変化していく社会情勢のなかでコロナ禍の状況を好機と捉え大阪の再生、成長に向けて方向性を明らかにし、地域全体に波及効果を与え人々の心を動かすインパクトのある運動を行い、魅力溢れるまちづくりに寄与し愛溢れる未来都市大阪を実現します。

1. 大阪ブロック大会主管締結式の開催（１月）
2. ＪＣカップU-11 少年少女サッカー大阪予選大会の実施（６月）
3. 近畿地区大会でのブース出展（７月）
4. ２０２４年度大阪ブロック大会主管立候補ＬＯＭ の審査及び決定（７月）
5. 社会にインパクトを与え、イノベーションを起こす大阪ブロック大会八尾大会の開催8 （９月）
6. 大阪ブロック大会主管ＬＯＭとの連絡調整（通年）
7. サスティナブルな中期ビジョン策定の推進（通年）
8. 連携推進運動・ＬＯＭ重点依頼運動の対応窓口及びＬＯＭへの周知及び支援（通年）
9. ＪＣＩ ＡＳＰＡＣ堺高石大会開催支援及び参加推進

STAFF

委員長

長崎　正幸

幹事

井出　慎理
田村　友裕

副委員長

竹田　清恭
川上　和大
津田　康介
佐藤　明孝

委員

谷口　洸太　山口　智愛　平瀬　健志　中村　彰敏　田中　恒成
大西　直樹　山本　勝馬　高野　章平　秋山　力　尾島　至郎
坂元　耕平　新川　博貴　船井　昭宏　堀田　遥　谷口　洸太
北山　翔吾　岡本　真治　西條　徹　川上　和大　前山　紘志
鈴木　輝　林　弘治　隈上　雄太　高瀬　樹　土井　健司
福田　哲也　小串　信太朗　小世木　英輝　浅野　桂右　山本　正浩
深山　大地

誰もが輝く社会実現委員会

Committee introduction



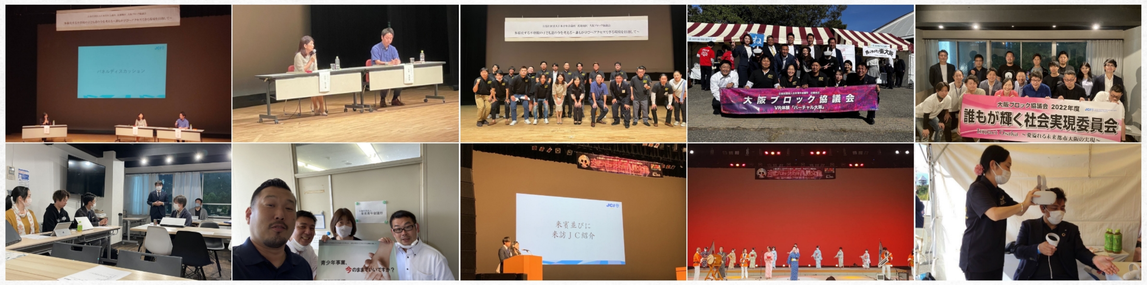
誰もが輝く社会実現委員会 委員長

松村　紘子

多様な人財として誰もが自分らしく輝くことのできる愛溢れる未来都市大阪の実現に向けて、私達の委員会はこの一年間邁進しました。

まず「誰一人取り残さない子供たちの学びを支える環境整備事業」においては、近年コロナ禍で全国的に増加している小中学校の不登校について着目し、官民連携を強化することで子供たちが学びに１００％アクセスできる環境を作る必要性を教育行政関係者に訴える講演会を開催し、子ども達の学校外の多様な学びの場を認める意味を持つ「民間施設のガイドライン」の策定を府下自治体と進め、府下市町村教育委員会に多様な学びの場の創設を求め提言書を提出しました。さらに、大阪ブロック大会八尾大会では、本会の歴史を紡ぎ２８ＬＯＭのメンバーと開催理念である「つながりの輪を広げ、輝くまちの創造」を共有するべく、八尾地域の伝統である河内音頭の団体の皆様に協力いただきオープニングを演出し、様々な映像を通して本会の歴史を発信し、豊中の地へと大会旗を繋ぎました。そして全国大会では、大阪への来訪者を増やし経済回復の一助となるために、バーチャル大阪を活用したVR体験型ブースを出展し大阪名所を知ってもらうとともに、エコバッグや名菓子をお渡して大阪の魅力を発信しました。年末には２８ＬＯＭメンバーの運動や成果を振り返り称え、来年に向けて勢いをつける機会として大納会の開催を予定しています。

結びになりますが、今年の様々な事業開催にあたり、各方面から多くのお力添えを賜りましたことを心から感謝申し上げます。一つ一つの事業を形にすることができ、社会を動かす一助となれたことを嬉しく思います。ありがとうございました。



事業計画

全ての世代が支えあい健康で豊かに暮らすことができ、子供たちが自信を持って自分や19 まちの未来を語り目標に向かってまい進することで、あちらこちらで夢や希望が芽吹き、誰もが自分らしく多様な人財として輝くことのできる愛溢れる未来都市大阪を実現します。

1. 誰一人取り残さない子供たちの学びを支える環境整備事業（通年）
2. 大阪ブロック大会八尾大会式典の開催（９月）
3. 全国大会でのブース出展（１０月）
4. 大納会の開催（１２月）
5. 連携推進運動・ＬＯＭ重点依頼運動の対応窓口及びＬＯＭへの周知及び支援（通年）
6. 大阪ブロック大会八尾大会への協力（通年）
7. 災害支援活動の実施及び日本ＪＣ・近畿地区との支援に関しての連携窓口（通年）
8. ＪＣＩ ＡＳＰＡＣ堺高石大会開催支援及び参加推進

STAFF

委員長

松村　紘子

幹事

井上　陽介

副委員長

小澤　光
黒川　侑希
水原　慶治
山下　龍樹

委員

山本　樹
大岡　裕之
藤原　伸充
前川　和也
小林　弘宜
髙倉　成生
山野　賢一
藤原　一貴
舛田　充旦
寺川　展史
本田　貴之
荒神　勝也
前田　晃良
大泉　翔
神原　雅男
金村　慎也
北原　菜緒
糸数　雄一
下雅意　大輔
村田　真央
井阪　静佳
葛城　繁
峰　正勝
松永　司
康原　文佳
傳石　亮介
田中　彩加
山口　篤
井阪　元亮
青山　元洋
渡辺　望美
山内　泰志
伊井　健祐
上野　直也
小野　竜太郎
辻　富久
鮫島　一成
定　聡佑

イノベーション創出委員会

Committee introduction



イノベーション創出委員会 委員長

矢谷　まり

イノベーション創出委員会では、国際の機会を最大限に活かすべく運動を展開してまいりました。1月には、大阪ブロック協議会へ出向することで、楽しいと思える合同出陣式を開催いたしました。

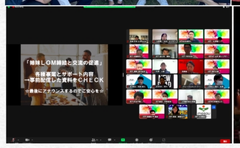
また、本年度はＪＣＩ　ＡＳＰＡＣが堺高石の地で開催された中のジャパンナイトにて、ブースを出展しました。ブース出展では、台湾をモチーフとした装飾を施し、ご来場の皆様にエッグタルトと台湾茶を振舞うことで、海外の魅力を発信することができました。そして、日本本会のグローバルネットワーク創造会議と連携し、海外ＬＯＭとの姉妹締結の推進を行い、大阪ブロック協議会内２８ＬＯＭの海外ＬＯＭとの姉妹締結に対する意識調査を行った上で、今まではなかった大阪ブロック版データベースを作成、共有することにより、海外ＬＯＭと姉妹締結済みのＬＯＭ、未締結のＬＯＭ双方にとって有益な情報を共有できるようになりました。また、日本本会のベビーファースト委員会とも連携し、若者の政治参画意識を高めるプロジェクトといたしまして、大阪の子育て世代を含む若者のアンケート調査を行ったことで、行政への提言書提出の一助となりました。さらに、２０２５大阪万博に向けた取り組みといたしまして、博覧会協会と密に連絡を取りあい、３年後に開催される大阪・関西万博への関心度向上のために大阪ブロック大会ではミャクミャク のポスターの掲示や、チラシを配布いたしました。

最後に、イノベーション創出委員会を支えていただき、成長と発展の機会をくださった全ての皆様へ、感謝申し上げます。








事業計画

我々大阪府下２８ＬＯＭのメンバーが国際の機会を最大限活かし、大阪万博に向けてＳＤＧｓ達成への土台を強固にしてＡＳＰＡＣ堺高石大会にて魅力を発信し、若者が政治に対して関心を持てる新たなイノベーションを創出し、愛溢れる未来都市大阪を実現します。

1．合同出陣式（１月）
2．２０２５大阪万博に向けた協力体制を構築するイノベーション創出事業（通年）
3．ＪＣＩ ＡＳＰＡＣ堺高石大会開催支援及び参加推進に関しての連携窓口
4．ＪＣＩ ＡＳＰＡＣ堺高石大会ジャパンナイトへの協力とブース出展（６月）
5．海外ＬＯＭとの姉妹締結の事例の調査と海外ＬＯＭとの姉妹締結の推進（通年）
6．若者の政治参画意識を高めるプロジェクトの実施（通年）
7．連携推進運動・ＬＯＭ重点依頼運動の対応窓口及び LOM への周知及び支援（通年）
8．大阪ブロック大会八尾大会への協力（通年）

STAFF

委員長

矢谷　まり

幹事

土岡　広隆
貞方　建吾

副委員長

奥谷　康人
太田　博崇
小原　暢
坂元　正幸

委員

濱中　加鈴
木村　卓也
阪口　博彦
山口　龍学
山辻　兵馬
目黒　沙織
山口　弘毅
松下　雄平
永橋　正人
吉本　沙知
池田　修也
兪　勝利
濱田　悠登
米田　貢二
澁谷　知世
登記　直美
金子　真也
吉田　卓司
乾　一也
榎本　健二
東　重利
須摩淵　琢司
宮崎　稔也
武本　絵美
西村　将典
角野　裕之
前野　奈津美

財政マネジメント委員会

Committee introduction



財政マネジメント委員会 委員長

松久保　豊

財政マネジメント委員会は公益社団法人である大阪ブロック協議会の運営や会計において適正かつ透明性を保つため、年間公益法人会計の運用を適正に実施、管理し会計の透明性や合規性を維持し公益性を明確化するため財政規則審査会議を運営してまいりました。

近年コンプライアンスは社会的にも企業や団体を認識する上で大きな指標となっており、メンバーがＪＣの社会的責任を理解する必要があり社会的信頼を育むために、著作権や肖像権の保護を厳正かつ健全化するためチェックをおこないました。また各委員会の事業構築する際に運動と運営の均衡を保つために、事業の予算及び決算について適正であるかを審査し、適正な予算規模のもと、費用対効果の高い事業を実施する環境を整えてきました。

さらに新たな財源確立に向けて資金調達が多様化していくために、助成金や企業連携およびクラウドファンディングなどの活用方法を調査し、各委員会に提言していくことで、資金運営をより効率的かつ適正な予算執行をおこないました。そして監査担当役員及び内部会計監査人と連携を行い、年度予算案及び年度末決算書の審査を行うことで会計の合理性と正確性を確保し2023年度がより効果的な事業をおこなえるよう年度末決算を進めてまいります。

結びに12月31日までの活動ではなく2022年度の決算報告をおこなうまで運営専務と監査担当役員と連携し進めていきたいと思います。一年間誠にありがとうございました。



事業計画

会計基準の厳正かつ健全な実績とコンプライアンス徹底という、高い精度による堅実な組織運営体制が確立され、その運営体制が、社会やメンバーからの信頼を育む要となり運動を持続的に力強く展開していく土台となることで、愛溢れる未来都市大阪を実現します。

１.公益法人会計の適正運用の管理（通年）
２.年度予算案及び年度末決算書の審査（１月、７月、１２月）
３.諸事業の予算及び決算の審査
４.コンプライアンスに基づく諸事業、議案の精査及び審査（通年）
５.委員会会計の指導及び支援（通年）
６.監査担当役員、内部会計監査人との連携
７.新たな財源確立に向けた調査、研究
８.連携推進運動・ＬＯＭ重点依頼運動の対応窓口及びＬＯＭへの周知及び支援（通年）
９.大阪ブロック大会八尾大会への協力（通年）
１０.ＪＣＩ ＡＳＰＡＣ堺高石大会開催支援及び参加推進

STAFF

委員長
松久保　豊

副委員長
樋口　慎一郎
小椋　賢人

委員
北村　真一
草田　洋平

幹事
園山　司
寺川　祐輔

組織ブランディング確立委員会

Committee introduction



組織ブランディング確立委員会 委員長

北田　昇平

組織ブランディング確立委員会では、新たな価値観を生み出し続けるロールモデルとなる組織を構築し発信すべく活動して参りました。予定者の段階から会員会議所会議・運営会議を開催、ＨＰやＳＮＳの製作/運営に始まり、毎月行われる正副会長会議、役員会議の運営と設営、大阪ブロック協議会および大阪府下２８ＬＯＭの運動発信を行って参りました。

広報においては、今までにない斬新な内容を発信できるよう創意工夫し、これまで届かなかった層に大阪ブロック協議会および大阪府下２８ロムの運動を拡げることが出来ました。運動発信に活用したＨＰ、ＳＮＳには多くの反響を得ることが出来ました。

また、大阪府全体の健康寿命延伸に対する意識を高めてもらうため、健康寿命延伸をただ地味で苦しい生活を送るのではなく、既存の考え方を廃しテクノロジーを取り入れて楽しく学びながら実現する生活習慣を広める「プロジェクト・ヒポクラテス」を実施しました。参加いただいた青年会議所メンバーからは健康の重要性を深く考える機会に繋がったと前向きなお声をいただきました。

結びに、事業実施に当たり多大なるご協力を賜りました全ての皆様に心から感謝申し上げます。

１年間誠にありがとうございました。



事業計画

既存のシステムや価値観に縛られることなく、メンバーの能力を最大限に発揮できる環境を整え、新たな価値観を生み出し続けるロールモデルとなる組織を構築し発信することで、社会と経済の両輪での持続的な成長に寄与する、愛溢れる未来都市大阪を実現します。

1. 公益社団法人制度に則った運営面、運用面の組織進化と調査、研究
2. 多様な人財が活躍できる組織改革の調査、研究
3. 会員会議所の設営及び運営（１月、７月、１２月）
4. 正副会長会議・役員会の設営及び運営
5. 大阪ブロック内褒賞の企画並びに授与式の設営及び実施
6. 諸事業議案の精査
7. 議案上程システムの運用及び浸透
8. デジタル会議（日本ＪＣアジェンダシステム）の実施
9. 会則及び諸規定の管理
10. 公式ホームページの等のＩＣＴの運用及び大阪ブロック内外への情報発信
11. ＪＣ運動を最大化させる情報共有システム活用の推進
12. 連携推進運動・ＬＯＭ重点依頼運動の対応窓口及びＬＯＭへの周知及び支援（通年）
13. 大阪ブロック大会八尾大会への協力（通年）
14. ＪＣＩ ＡＳＰＡＣ堺高石大会開催支援及び参加推進
15. 誰もが活躍できる健康で豊かな生活を実現する事業（通年）

STAFF

委員長

北田　昇平

幹事

齋藤　寛樹
小林　俊介
江口　貴子

副委員長

行松　浩司
河野　晃
林　広幸

委員

平　如将
豊川　重国
釜野　貴司
奥村　行弘
小谷　聖和
山元　雅里
中井　隼斗
今井　宏美
清本　世哲
今奈良　幸子
井上　強志
井本　竜也
近江　宏嗣
山谷　充史
香山　夏志
石川　雅也
川西　竜次
長野　力
西嵜　優作
寺前　和希
西田　充功
安藤　有希
小川　将史
金沢　信秀
草部　和輝
平松　利哉
毎田　佑佳
内本　修平
竹谷　拓
橋本　祐介
東山　尚貴
山内　卓也
柳生　駿祐

JCアドバイザー会議

Committee introduction



JCアドバイザー会議 エグゼクティブアドバイザー

北川　雅史

新たなＬＯＭ支援の取り組みとして、各地域より青年会議所の経験値が豊富なメンバーで構成されたアドバイザー会議が設置されることになりました。

委員会支援については、協議会内において、委員会への議案書作成の指導や委員会運営に関する指導等、多種多様な質疑に対してフレキシブルに対応を行い、委員会構成メンバーの成長支援となるように委員会別に担当者を設置し、共に委員会と伴走し、事業構築の一助となるべく努めてまいりました。会務副会長の良き相談役でもあり、委員会の構成メンバーとも分け隔てなく接することができ、委員会担当者毎に、支援方法を変え寄り添いながら事業構築へ導くことができたと確信をしています。

また、ＬＯＭ支援においては、理念共感拡大支援委員会と住み分けを行い、特に、在籍人数が少ないＬＯＭにお伺いし、ＬＯＭの運営やＬＯＭの会員拡大に対して、それぞれの悩み事に沿った支援を行ってまいりました。会員数は少数ながら、個性的な事業構築を行っているＬＯＭが多く、今後支援の仕方次第では会員の拡大にも充分に期待できると認識できました。次年度以降も継続的な支援策を模索していただきたいと考えております。

結びに、各地域のＬＯＭの皆様には、勇気を出して我われに相談をしていただき感謝の言葉しかありません。今後、各地青年会議所の皆様のご発展と大阪ブロック協議会のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。一年間ありがとうございました。



事業計画

４地域の特性を持つアドバイザーが、この組織に属することで得ることができる機会を意味のあるものにすることやＬＯＭの発展に寄与することで、本来持つＪＣの輝きを取り戻し、社会や地域に最も必要とされる組織へと導き、愛溢れる未来都市大阪を実現します。

1.ロバート議事法を用いないアドバイザーミーティングの実施
2.委員会への指導及び支援
3.LOMのJC全般に関する相談窓口
4.LOMへのアドバイザー派遣及び支援
5.大阪ブロック協議会及びLOMの組織改革に関する調査、研究

STAFF

エグゼクティブアドバイザー

北川　雅史

委員

荒木　友博　　井川　晃一　　礒山　大地　　榎並　伸弥　　柿本　久志
唐原　健太郎　　中澤　和也　　西村　拓憲　　米田　勇一

褒賞

Award

会長特別賞

一般団法人　柏原青年会議所

「１１月定例会 かしわらフェスタ」



最優秀出向者賞

理念共感拡大LOM支援委員会

下川　顕



最優秀賞

- 青少年育成部門　一般社団法人四條畷青年会議所「なわクラGP　四條畷の未来を創造しよう」
- 地域活性化部門　一般社団法人大阪青年会議所　「モトテラシーＯＳＡＫＡ」
- 人財育成部門　一般社団法人枚方青年会議所　「出向者の支援および出向者をＬOMに発信する業務」
- 国際交流部門　一般社団法人箕面青年会議所　「創立55周年記念事業Make the INternational city to On Heart未来への挑戦」
- 会員拡大部門　一般社団法人枚方青年会議所
- 会員拡大多様化部門　公益社団法人貝塚青年会議所

優秀賞

- 青少年育成部門　一般社団法人枚方青年会議所「創立６０周年記念事業　枚方チャレンジ～みんなでつくろう！まちのミライ～」
- 地域活性化部門　一般社団法人大東青年会議所「灯篭が彩るＮｉｇｈｔ～Ｄａｉｔｏ　Ｒｅ：Ｄｅｓｉｇｎ　Ｐｒｏｊｅｃｔ～」
- 人財育成部門　一般社団法人枚方青年会議所「Ｗｈａｔ’ｓ　ＪＣの発刊」
- 国際交流部門　一般社団法人大阪青年会議所「ＦＵＮ　ＦＵＮ　Ｃｏｏｋｉｎｇ」
- 会員拡大部門　一般社団法人枚方青年会議所
- 会員拡大多様化部門　一般社団法人八尾青年会議所

最優秀委員会賞

組織ブランディング
確立委員会



優秀出向者賞

奥谷 康人　佐藤 明孝　園山 司　山下 龍樹　行松　浩司　米田 勇一

広告制作物／外部協力団体

Advertising production/External cooperation organization

広告制作物

２０２２年大阪ブロック協議会ロゴ



大阪ブロック大会









会員会議所会議運営会議バナー



わんぱく相撲





JCカップ



誰一人取り残さない子供たちの学びを支える環境整備推進事業
「多様化する不登校の子供たちの今を考える～誰もが学びへアクセスできる環境を目指して～」





ブロックアカデミー



全国大会





外部協力団体

クロス発信

ＴＥＤｘＮａｍｂａ
ＢＮＩ　大阪高槻河北東リージョン
タマノイ酢株式会社
大阪府中小企業家同友会
株式会社ビズリーチ
株式会社友安製作所
カンサイ建装工業株式会社
日本再生医療学会
Ｉｎｏｃｈｉ　ＷＡＫＡＺＯ　Ｐｒｏｊｅｃｔ
株式会社　Ｓｉｌｅｎｔ　Ｖｏｉｃｅ

誰一人取り残さない子供たちの学びを支える環境整備推進事業

「多様化する不登校の子供たちの今を考える～誰もが学びへアクセスできる環境を目指して～」

大東市教育長　水野達朗様
NPO法人新公益連盟　白井智子様

ブロックアカデミー

アチーブメント株式会社

大阪ブロック大会八尾大会

学校法人堀井学園 横浜創英中学・高等学校　理事 / 校長　工藤　勇一様